

# BPO

## 導入事例

神奈川県 様



## 就職氷河期世代の「良さ」と「強み」を引きだした 『独自の就労支援モデル』



導入前の

### 課題

- ▶ 就職活動に必要なノウハウが不足している
- ▶ 就職活動への自信を失い不安を抱えている
- ▶ 特定の業種や職種に興味・関心が集中している



導入後の

### 成果

- ▶ 就職活動に必要な基本的なスキル・心構えが身につく
- ▶ 「伴走型支援」で「良さ」「強み」を引き出し自信がつく
- ▶ 企業訪問を実施し、業種・職種の選択肢が広がる

お客さまの

声

『かながわジョブテラス』は、多くの受講者が、希望する企業から内定をいただけるなど高い効果もあり、受講者の満足度も非常に高いものでした。長期に継続するプログラムの中で、パーソルテンプスタッフの知識豊富なキャリアカウンセラーの方々が、受講者に寄り添って、それぞれの方の良さや強みを引き出してくださったおかげです。これは、短期の講座ではなかなか難しく、長期プログラムである『かながわジョブテラス』ならではの効果だと思っています。



神奈川県 産業労働局労働部 雇用労政課 雇用対策グループ  
永井 華子様

## 合同就職面接会の入口で立ち尽くす人、 1社だけ訪問して退場する人.....

神奈川県では2020年度に就職氷河期世代を対象とした合同就職面接会の『かながわ正社員就職フェア』を開催。

すると、会場に来たもののどうしてよいか分からないと会場入口で立ち尽くしている方が少なくなかったり、企業の面接ブースよりもキャリアカウンセリングなどの相談ブースへの訪問を希望する方が多かったりする傾向が見られました。

またアンケート調査では『訪問企業数』1社という回答が最も多く、目的のブース以外は訪問せずに退場するなどの傾向がありました。

## “企業とのマッチング”に加えて 「伴走型支援」が必要、と考えた

そこで「就職活動の基本的なスキルや心構えなどを身に付ける場を提供する必要がある」と考え、実習型プログラムを提供しながら、一人ひとりの課題に寄り添う「伴走型支援」を実施する『かながわジョブテラス』を企画しました。

約2ヶ月間にわたっての講義やグループワーク、企業訪問などを通じて、就職活動や正社員就職に必要な基本的なスキル・心構えを身に付けてもらうプログラムであり、一人ひとりに専任のキャリアカウンセラーを配置して、就職から定着支援まで寄り添いながら支援を実施します。

## 面接会の集客+就労支援の 強みを持ち寄り、2社で共同運営

公募型プロポーザル方式での事業者選定が行われ、株式会社学情(以下、学情)が動きました。学情は、もともと自社の事業でも合同就職面接会を開催しており、求職者の集客についてはノウハウがありました。

学情の添田様は振り返ります。「実習や研修などを行う就労支援については、単独で行うにはリソースもノウハウ

も少なかったため、いろいろな形で一緒に事業を展開していたパーソルテンプスタッフにご相談して、『かながわジョブテラス』の主にキャリアカウンセリング業務を担当していただくパートナーになっていただきました」

株式会社学情  
パブリックサービス事業部  
副部長  
添田 健吾様



## 自信がなかった参加者が、 みるみる変化していった実習

実習型プログラムの研修では、グループワークでのディスカッションのほか、受講者に発表などもしていただきました。そうすることで本人が気付いていない「良さ」や「強み」を一緒に見つけていくことができるのが、このプログラムの特徴でもありました。

最初は「自信がない」と話していた人でも、約2ヶ月・40日間研修を積み重ねていくことで、まわりの人との関わりやカウンセラーからのフィードバックによって気づきを心得、自信をつけることができるようになりました。

## 「希望する企業からの内定」により、 受講者の高い満足度を実現

「かながわジョブテラス」実施後に開催された合同就職面接会「かながわ正社員就職フェア」では、パーソルテンプスタッフと学情で情報共有を重ね、学情が就職氷河期世代を積極的に採用する企業を開拓し、3つの会場で延べ100社近くの企業にブース出展していただきました。

学情の添田様は、この事業についてこう語ります。「パーソルテンプスタッフと一緒に取り組んだことで本当に勉強になりました。この事業は当社にとっても新しいチャレンジです。手応えがある一方、課題も感じていますので、もっと頑張っていきたいですね」

